

【今後の自動車産業覇権の行方】

トヨタと中国 EV の戦略と競争力の源泉

～知能化を巡る日本の次世代車の勝ち筋は！？～

— 講師 —

株式会社ナカニシ自動車産業リサーチ 代表 兼 アナリスト

『トヨタ対中国 EV』著者 中西 孝樹 氏

日 時 2026 年 1 月 27 日 (火) 午前 10 時～12 時
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2 週間、何度でもご視聴可)
会 場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

[重点講義内容]

中国市場の最強 EV メーカー群と彼らを支える強力なエコシステムが台頭著しい。それは、中国のデジタル国家戦略と有機的に結合している。SDV 化、AI 進化など、グローバルにおける自動車産業の競争構図が変化する中で、日本メーカーは勝ち筋を描くことができるのか。分断が進む産業覇権を視野に、今後の自動車産業の構図を論考する。

1. 知能化を巡る戦いの構図
2. 中国最強 EV メーカーの競争力
3. 日本 OEM の対中国戦略
4. 日本の勝ち筋 ～SDV バリューチェーン戦略
5. SDV シフトに伴うモノづくりの進化
6. 質疑応答／名刺交換

P R O F I L E 中西 孝樹 (なかにし たかき) 氏

オレゴン大学卒。山一証券、メリルリンチ証券等を経て、JP モルガン証券東京支店株式調査部長、アライアンス・バーンスタインのグロース株式調査部長を歴任。現在は、ナカニシ自動車産業リサーチ代表アナリスト。国内外のアナリストランキングで 6 年連続第 1 位など不動の地位を保った日本を代表する自動車アナリスト。著書に『トヨタ対中国 EV』(日本経済新聞出版)『トヨタの EV 戦争』(講談社)、『CASE 革命』(日本経済新聞出版)など多数。

